

「琵琶湖・子どもたちの未来」 さまざまな取り組みを進め

■ ニゴロブナ・ワタカを放流

平成25年1月26日、草津市烏丸半島の琵琶湖岸において、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ」と「ワタカ」の放流式を行いました。これは環境対応型金融商品「カーボンニュートラルローン 未来よし」を活用したもので、お客さまが「太陽光発電システム」等を導入し、削減された温室効果ガスの排出量を当行が推計、排出権取引価格を参考に換算した金額を、放流資金として拠出しているものです。

当日は、凍てつくような寒さの中、当行役職員とその家族163名が参加し、約4,000匹を放流。平成19年からの放流累計はニゴロブナ20万匹、ワタカ13万匹になります。



「元気に育ててね」と願いながら
稚魚を放流

■ 「外来魚駆除・釣りボランティア」を開催

平成25年5月18日、「外来魚駆除・釣りボランティア」を草津市志那中湖岸緑地で開催しました。

琵琶湖の豊かな生態系を取り戻すため、平成22年から実施しており、今年で4年目となります。

この日は、当行創立80周年記念事業として午前と午後の2回開催。しがぎんグループ役職員とその家族あわせて520名が参加し、釣りを楽しみながらも琵琶湖の深刻な外来魚問題について理解を深めました。午前、午後の合計でブルーギル2,507匹、60.9kgの外来魚を駆除することができました。



家族連れもたくさん参加しました

のために しています



■ 環境配慮型店舗「高島支店」新築オープン

平成24年11月19日、「高島支店」を建て替え新築オープンしました。新店舗は、歴史と文化に育まれた城下町の面影が残る伝統的な景観に配慮し、勾配屋根の連なる商家の佇まいをイメージするとともに、「太陽光発電」や「ソーラー外灯」を採用するなど、「クリーンバンクしがぎん」として環境設備の充実を図っています。

当行では、今後とも店舗機能をより一層充実し、地域のお客さまの利便性向上に努めてまいります。



「地域の皆さまの期待にお応えいたします」と西畑支店長（左から2番目）

■ 青少年のスポーツ育成を応援

平成24年11月24日、第20回目となる「しがぎんカップ」を開催しました。同大会は、青少年の健全な育成と地域共感を図ることを目的として、当行創立60周年にあたる平成5年から協賛している滋賀県内最大の小学生対象サッカー大会です。

今回は、県内136チームが参加して、熱戦が繰り広げられた結果、アミティエ・スポーツクラブ草津が見事優勝されました。



熱戦が繰り広げられました